



平成 20 年 10 月 30 日

各 位

東京都千代田区平河町一丁目 4 番 1 2 号
株 式 会 社 ベ ル パ ー ク
代 表 取 締 役 社 長 西 川 猛
(J A S D A Q コード番号: 9 4 4 1)
問 合 せ 先
執 行 役 員 管 理 本 部 長 石 川 洋
T E L 0 3 - 3 2 8 8 - 5 2 1 1

平成 20 年 12 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 20 年 5 月 29 日 付 当 社 「 子 会 社 株 式 の 一 部 譲 渡 契 約 の 締 結 並 び に そ れ に 伴 う 特 別 利 益 の 発 生 及 び 平 成 20 年 12 月 期 中 間 期 ・ 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ 」 に て 公 表 し ま し た 平 成 20 年 12 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で 、 お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1. 平成20年12月期 連結業績予想の修正

(1) 通期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	35,800	980	990	600
今回修正 (B)	32,300	1,220	1,230	1,040
増減額 (B-A)	△3,500	240	240	440
増減率	△9.8%	24.5%	24.2%	73.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月 期)	31,453	1,684	1,685	840

(2) 修正理由

当連結会計年度の後半から、世界的な景気減速懸念に起因した国内の消費マインドの低下、並びに携帯電話販売業界における割賦販売方式の浸透により、新規販売が減少し、さらに買い替えサイクルの長期化により、機種変更も減少してきております。この結果、総販売台数が通期の計画を下回る見通しとなりました。

売上高につきましては、販売台数の減少に伴い前回予想より3,500百万円減少する見込みであります。

一方で、営業利益、経常利益につきましては、粗利単価のより高い機種の販売及び付属品等の販売努力により売上総利益が増加したこと、並びに効率的な人材の配置、販売促進費の効率的な活用等経営努力により販売管理費を抑制したことにより、それぞれ240百万円増加する見込みであります。

当期純利益につきましては、上記営業利益及び経常利益の増加に伴う増加分が140百万円であります。さらに、平成20年10月30日開催の当社取締役会において、当社の連結子

会社である株式会社ニッカの有償減資を決議いたしました。この減資に伴い、法人税等が300百万円減少し当期純利益が同額増加する見込みであります。あわせて前回予想を440百万円上回る見込みであります。

2. 平成20年12月期 個別業績予想の修正

(1) 通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	34,600	980	980	600
今回修正 (B)	31,200	1,180	1,200	1,020
増減額 (B-A)	△3,400	200	220	420
増減率	△9.8%	20.4%	22.4%	70.0%
(ご参考) 前期実績 (平成19年12月期)	29,618	1,647	1,650	808

(2) 修正理由

上記1 (2) の連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高は3,400百万円減少し、営業利益は200百万円、経常利益は220百万円、当期純利益は420百万円それぞれ増加する見込みであります。

※ 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上